



マアジ

太平洋系群

主な漁業と漁期

定置網: 周年
まき網: 周年
棒受け網: 周年

生態

マアジは日本各地に分布し、内湾や瀬に定着する瀬付き魚群と沖合いを回遊する魚群があります。前者は体色が黄色がかった体高が高く、キアジと呼ばれ、後者は黒みがかった流線形でクロアジと呼ばれることがあります。

●産卵場・産卵期

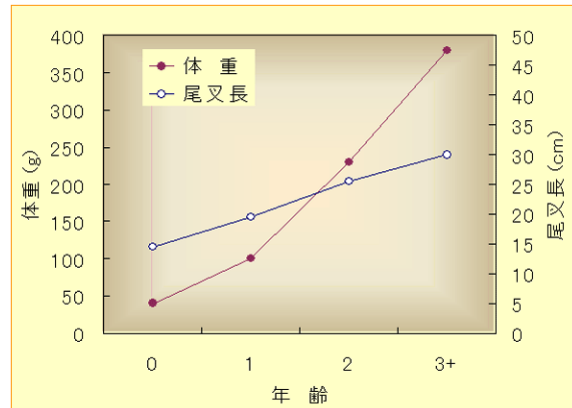
東シナ海と太平洋沿岸域で産卵する群れがあり、東シナ海までは2~4月、太平洋沿岸域では5月以降に産卵が行われます。

●食性

仔稚魚は動物プランクトン(甲殻類)を主餌料としますが、成長に伴い魚食性が強くなり、成魚ではイワシ類、オキアミ類、イカ類などを主に捕食します。摂餌は明け方と日没時に活発になります。

●成長・成熟

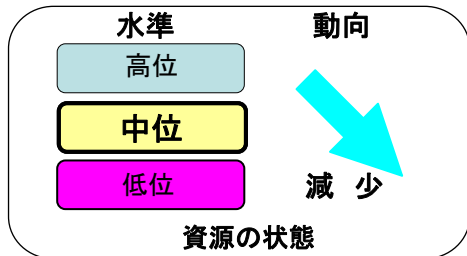
寿命は5歳とされていますが、20歳以上の個体も確認されています。資源水準によって成長は異なりますが、1歳で尾叉長18cm、2歳で尾叉長24cm程度に成長します。近年では1歳で50%、2歳以上で全てが成熟します。



年齢と成長 (水産研究・教育機構資料)

漁業・資源動向

【資源】



- 1 太平洋系群の資源量は1996年の16万トンを頂点に減少傾向にあり、2015年の資源量は4.4万トンで中位、資源動向は減少と評価されています。
- 2 本系群は親魚量と加入量には正の相関関係がみられ、持続的な資源利用のためには親魚量を一定以上に維持することが有効と考えられます。
- 3 そのため、漁獲圧の削減による、親魚量の維持・回復を図る措置が提案されています。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト

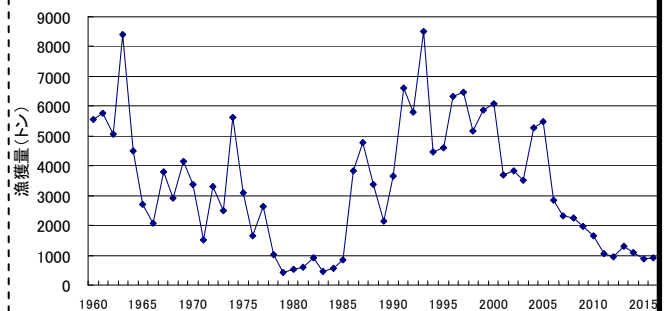
<http://abchan.job.affrc.go.jp/digests28/html/2803.html>

詳細版

<http://abchan.job.affrc.go.jp/digests28/details/2803.pdf>

【漁業】

- 1 静岡県では主に定置網やまき網で漁獲されています。
- 2 県内の漁獲量は1980年代に1,000トン以下となった後に増加傾向に転じ、1993年には8,500トンとなりました。
- 3 その後、再び減少傾向となり、2011年以降は1,000トン前後と、低調に推移しています。
- 4 漁獲物の年齢構成は0,1歳魚が主体となっています。



静岡県のマアジ漁獲量

担当者の一言: 旬は初夏~夏。刺身やたたき、小型魚は丸ごと唐揚げに。自家製干物にもチャレンジしてみては？

問合せ先

静岡県水産技術研究所 伊豆分場 0558-22-0835